

「栄冠ウグイス」の起源について

校長 横山 豊



本校に勤め始めて文化祭の買い物をしたときのことです。領収書をいただけますかと尋ねると、逆にこのように聞かれることがよくありました。『「うぐいすだに」の「うぐいす」はどのような漢字ですか?』こう聞かれるたびに、「火冠(ひかんむり)の下に鳥と書きます。」と答えました。火冠をご存知の場合はこれで書いていただきましたが、知らない場合は、「火を二つ書いて、その下に冠を書き、そして鳥を書けば、鶯という漢字になります。」とその都度説明しました。

1993年(平成5年)、創立90周年記念事業の一環として、8階建ての西タワー校舎が完成しました。その際、当時の理事長先生の主催で学園の「シンボルマークとマスコットキャラクター」が全校生徒と全教職員に公募されました。当時私はたまたま美術部の顧問をしていましたので、私もキャラクターを考えて参加してみました。すると、選考の結果、シンボルマークは当時の国語の先生でコンピュータに精通してみえた佐口修一先生他的作品「鶯谷の頭文字『U』と鶯、炎の3つをアレンジしたデザインで、“飛翔”をイメージしたもの」が採用されました。これがシンボルカラーのブルーで、東タワー校舎の壁面にもはめ込まれている「飛翔ウグイス」です。そして、キャラクター部門では私が考案した「栄冠ウグイス」が採用されました。これは、当時大学進学を目指す進学校として生まれ変わった鶯谷高等学校が、男女共学化によってさらに成長していくようにとの願いを込めたものです。かぶっている「王冠」は、生徒が学業に励み、大学入試という関門を見事に突破したのちに

手に入れる「栄冠」をイメージしており、鶯という漢字の火冠(ひかんむり)がアイデアのヒントになりました。

その後、通称「栄冠ウグイス」と呼ばれていましたが、「栄冠ウグイス」は名前ではないというご指摘があり、名前も公募され、現高等学校教頭の高橋洋介先生の命名による「ウッピー」が採用されました。当時はTシャツなどのワンポイントになると良いと思っていましたが、最初に文房具のコクヨさんの角ケシとのコラボが実現し、今も説明会などで配布されています。さらに、現佐々木理事長先生の発案で着ぐるみとなり、立体化しました。最近では根付けの立体が可愛いと好評で、考案者としてはとても嬉しい限りです。

「飛翔ウグイス」はデザイン的にも見事ですので、脚光を浴びて当然ですが、「本校の3年後または6年後に訪れる夢の実現の象徴」である「栄冠ウグイス」も今後とも可愛がってください。



「ウッピー」